

編集後記

現代社会学科／人間科学科では、フィールドワーク科目を重視し、全学年に積極的に履修するよう勧めてきました。しかし、2020年度からの3年間は、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、ほとんどのフィールドワーク科目が休講になりました。今年度によりよく開講の機会が訪れましたが、履修登録期間の4月初旬は、室内、室外を問わずマスクを着用している人が大多数で、宿泊や飲食を共にする授業に参加しようとする学生がいるのかを心配していました。

果たして初回授業に現れたのは2名、その後、興味をもってくれそうな学生に個別に声をかけ、最終的には4名の在校生が履修登録をしました。さらに卒業生2名、他大学の学生1名、共同研究者1名を誘い、8名と科目担当教員1名で夏の東北地方を旅しました。5日間で5都市を巡り、各地で性的マイノリティのための市民運動に関わっている方々のお話をうかがうという忙しい日程を組みましたが、幸い快調に移動できました。

訪問した先々で、現地の皆さんにたいへんお世話になりました。登壇をお願いした皆さんが準備のために多くの時間を割いてくださったこと、当日のプレゼンテーションと質疑応答を通して日々の暮らしを良くするための知恵や方法を惜しげもなく伝えてくださったことは、この報告書から手に取るようにわかると思います。また、登壇者の皆さんは、ワークショップのための施設や機材の予約、鍵の受け渡しなども引き受けてくださり、さらには、ここに掲載した原稿の確認やパワーポイント資料の提供もご快諾いただきました。弘前で、山下梓さん（弘前大学男女共同参画推進室）に登壇者の紹介から大学施設の手配までお力添えをいただきました。皆様の長期にわたる多大なるご協力に、あらためて感謝を申し上げます。

参加者に蒔かれた自治の種が、いつかどこかで芽吹くことを願ってやみません。

2024年2月23日 杉浦郁子

東北地方における性的マイノリティの市民運動
2023年度「フィールドワーク（市民運動と自治）」報告書

発行日：2024年3月5日

編集：杉浦郁子

発行：和光大学現代人間学部現代社会学科・人間科学科

195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5丁目1番1号